

一日も早く！

買い物、通院などに便利な コミバス・乗合タクシーを

「通院も買い物も不便で、困っている」と、コミバスや乗合タクシーは、市民から長い間要望が寄せられています。多摩26市でコミバスがないのは、青梅市、福生市と、東久留米市です。しかし福生市には福祉バスがあり、高齢者や障がい者、妊婦など無料で利用する事が出来ます。東久留米市も来年3月から予約制の乗合方式で、高齢者や妊婦などが利用できるデマンド型交通を運行することになっています。

青梅市では、これまで16年も検討して、空白不便地域も明らかになり、交通事業者や高齢者・市民の代表も参加する青梅市公共交通協議会でも話し合われているのに、コミバスなどは進展がありません。市長は、都バスや西東京バスに多額の公共負担をしているからと、後ろ向きな姿勢を続けていることは問題です。

超党派で改善策を調査・検討へ

千ヶ瀬河辺下通りは、小型バスの計画は見送りにりましたが、10月頃地域の声を聴くワークショップを開催するとの事でした。

私の所属する環境建設委員会では、超党派で公共交通の改善策について調査研究し、取り組む事になりました。交通問題を解決するためには、やはりコミバスが必要です。このような機会も生かして、実現に向けて取り組みます。



沢井保健福祉センター

高齢者の生きがい、交流の場や子供たちの居場所は減らさず、充実こそ

沢井保健福祉センターは存続を！

与党議員も「延期すべき」

今年3月末で、東青梅の高齢者センターは廃止、沢井、小曾木にある地域保健福祉センターは入浴施設が廃止になりました。青梅市が国の言いなりに次々と公共施設を閉鎖し、高齢者の憩いの場を無くし、地域のコミュニティを壊すことは許せません。高齢者の施設では、「入浴は無料で利用できて、そのあとカラオケや囲碁、体操などをするのがとても楽しみだった。お風呂が無くなり、つまらないから行かない」と利用者は激減しています。

八王子市では高齢者のお風呂の施設を無料で利用でき、昭島市や日の出町では100円で、23区も無料や低料金の銭湯入浴補助制度があります。9月の議会では、与党からも「センター廃止は延期を」

※裏面に続く



青梅市議会議員

藤野ひろえ

日本共産党青梅市議団

2019年10・11月 藤野ひろえ市議会報告

暮らしの相談、無料法律相談(要予約)はお気軽にどうぞ！

「空き地に雑草が茂って困っている」、「相続問題を誰に相談したらいいかわからない」など、市民のみなさんから多くの相談が寄せられています。市にお願いしたり、弁護士さんを紹介したりして、解決の為に奔走しています。何でも相談、ご要望はお気軽にご連絡ください。

連絡先 090-4003-9987

台風災害にお見舞い申し上げます

復旧への対応や、青梅市の防災対策・対応について、ご意見、ご要望をお寄せください

消費税強行 許せません！

消費税が2014年に8%に増税され、くらしは大変です。市議会でも日本共産党市議団はこの問題を取り上げ、市は国に「増税すべきでない」と求めるように訴えてきました。

結局、安倍政権は10%増税を強行し、「ポイント還元」など複雑な仕組みで、市内でも「対応できず商売をやめる」の声も聞かれています。私たちはこれからもあきらめず「まず5%に戻せ」と求めていきます。

の発言もありました。高齢者の健康増進、交流に役立つ入浴施設を復活させ、今年度限りでセンターそのものを廃止する計画は撤回させましょう。

また新町にある子育て支援センター「はぐはぐ」が、東青梅の新市民ホール複合施設に移転統合の構想が出されて

いましたが、私は市長に質問し、「廃止する考えはない」ことを確認できました。多摩の26市で青梅市だけがない児童館など、広い青梅市では身近な地域に、中高生まで安全に安心して過ごせ、いつでも無料で利用できる子どもの居場所の充実が必要です。

ついに見直しへ！新市民ホール計画

「演劇も、音楽もできない新市民ホール計画」への批判が広がり、市はついに新市民ホールの計画を見直すことを表明しました。

この間、市は批判の強かった「平土間式ホール」などの計画について、「市が検討して、すでに決めたこと」としていましたが、利用団体などがあきらめずに運動を広げる中、今年3月には計画の見直しを求める陳情が市議会で採択されました。これらを受け、市は計画を見直すことを事実上認めてきましたが、6月18日、私が所属する市議会の東青梅一丁目事業特別委員会に具体的な見直しの方針が報告されました。

各施設は個別に建設の方針

市方針の説明によると、当初「今年度内」としていた整備計画の策定期限については延期し(まだ期限が示せない)、夏以降に市民アンケートを行うなど、あらためて市

民意見を聞くこと、ホールの形態については、可動式の座席による劇場型ホールなども含めて検討すること、国、市、民間の各施設を複合させる建造物にはせず、国、市、民間の「ゾーン」にわけて個別に建設する計画に見直すことが明らかになりました。

市民の批判を受け、計画を見直しすることにしたことは評価したいと思いますが、施設の集約による計画全体の肥大化や、身近な施設の削減など、引き続き見直し・検討が必要な部分が多くあります。

今度こそ、市民の要望にそった施設の計画になるように求めています。



新市民ホールを含む複合施設予定地(現市仮設駐車場)

青梅市の学校トイレ改修工事

2年間前倒しが決定しました！

【9月の市議会で明らかになった予定】

2020年 吹上小 第一中 吹上中 第六中

2021年 河辺小 霞台小 若草小 新町中

2022年 友田小 藤橋小 西中 泉中

2023年 第六小 第七小 今井小 第七中

小中学校のトイレの改修について、市の計画では「2023年までに」とされていた工事予定が、今年になって「2025年までに」と先延ばしされていました。保護者からは「子どもが学校でトイレに行けなくて困っている」など切実な声が寄せられていました。

日本共産党青梅市議団は、かねてより「早く工事を」と求めてきましたが、9月議会で「2年間前倒し」の方針が示され、全校完了までの計画も示されました。

自転車通学にも補助を

市内に通う小中学生の交通費は、電車・バスについては支給されていますが、6つの中学校に通う約400人の自転車通学については、ヘルメットの配布のみの補助となっています。

私は、「自転車も維持費がかかり、雨の日のバス利用は保護者の負担となるため、自転車通学についても、補助をするべきです」と市に求めました。

